



今月の行事予定		
日	曜日	内容
4	土	保育始め
7	火	ピヨピヨひろば
8	水	交通安全教室（2歳児以上） 絵本の読み聞かせ（5歳児）
9	木	リトミック（3歳児以上）
14	火	巡回相談
16	木	3園合同交流会（5歳児） サロン
17	金	餅つき
23	木	誕生会
24	金	避難訓練

穏やかな清々しいお正月でした。筑波山と富士山もスッキリと見えました。前夜の大晦日から泊っていた孫と近くの公園に行く。風のない空に、凧を上げよう。子ども達が苦戦していました。その間を、鬼ごっこをして走り回りました。ベンチに座っていた人が私を見ていて「元気ですねー」と言っていました。夕食前にジョギングに出掛けました。流石に元旦に走っている人は、殆どいません。前日の強風と澄んだ空気のお陰で三日月と、ちりばめられたたくさんの星が光り輝いていました。大きく深呼吸して、今年は災害のない、今日みたいな穏やかな一年であること、子ども達と、もっともっと楽しく遊べることを祈りました。



今月の予定の中から・・・



●交通安全教室（8日）

・今月は衝突実験を実際に目で見て、シートベルトの大切さを学びます。送迎の際等、子どもの命を守るシートベルトは必ず着けましょう。

●リトミック（9日）3歳児以上

・日常の保育の中で0歳児からリトミックに慣れ親しみ楽しんでいきます。午睡の時間に、中島先生から先生達は直接指導の仕方を学びます。

●3園合同交流会（16日）5歳児

・本園の5歳児がふたばランド保育園に行き、ふたばランド保育園とつじが丘保育園の5歳児と遊びながら交流します。新しい友だちが一人でも増え就学を楽しみに出来るようにと考えています。

●もちつき（17日）

・前日に5歳児がもち米を洗い、当日、3歳児以上は本物の臼と杵で餅つきを体験します。（1・2歳児はミニ臼と杵で出来たあがつた餅で餅つきごっこを行います。）

0・1歳児は蒸したもち米を一口ずつ食べ、給食ではうどんを食べます。2歳児はきな粉ぼた餅（蒸したもち米を少しつぶし、きな粉をまぶしたもの）とうどんを食べます。そして3歳児以上はきな粉餅とお雑煮を食べます。

●誕生会（23日）

・今月は発表会の予行練習等の関係で第4週目に誕生会を行います。出し物は先生達の歌・合奏です。子ども達にとって良い刺激となるように練習を頑張っています。

★お願い☆お知らせ

★登園は9時までにお願い致します。

・また、欠席・遅刻の場合も9時までは必ずご連絡下さい。

★お子さんが発疹や熱、嘔吐や下痢のある場合は病院受診後の登園をお願い致します。

また、ご家族で感染症と診断された場合もお知らせ頂けると助かります。保育園は集団生活の場です。感染性のものか否かを確認して頂くことが感染拡大を防ぐこととご理解下さい。

☆発表会は2月8日（土）8:30頃～12:00（予定）

・今年も、当日の出演は2歳児以上2部制とさせていただきます。（土曜保育は実施しません。）

☆保育参観&給食試食会

・2/17（月） ひかり・ほし

・2/18（火） にじ・だいち

・2/19（水） たいよう・そのきりんグループ

・2/26（水） たいよう・そのぞうグループ

☆5歳児のお別れ遠足は3月4日（水）で、場所は未定です。

☆卒園式は3月29日（日）11時開始予定です。

※各行事の詳細は後日お知らせ致します。

たくさんさんの「やさしさ」を

ありがとう

昨年は、日本のみならず、世界中が自然災害に見舞われた。絹ふたばも、これで完璧だと保証された防水壁があったのに、浸水してしまった。このままでは温暖化による気候変動、異常気象は、さらに強くなるのが危惧される。被災後の復旧作業には、たくさんの人々が駆け付けてくれ、短期間で汚泥の処理、清掃、消毒を終わることができた。その後は、すぐに工事にかかれる業者を確保することが難しく、業者が見つかったも更に大工等の技術者不足で、工事が進まないことに困った。そんな中で、絹幼稚園の保護者は、職員のことを心遣い、おいしいお弁当を作ってくれたり、ピアニカ等の購入資金の募金をしてくれたり、心温まる支援をしてくれた。その他、たくさんの人々が応援してくれた。▼そんな中、

年末に「赤ちゃんを触らないで」という若いママの投書が話題になった。私は赤ちゃんを見ると、つい触りたくなるだけでなく、抱っこさせてもらってしまふ。子どもは社会の宝、みんなの声かけあつて社会全体で育てていかなければならない。子育てはみんなが負担し、楽しまなければならぬ。子育てしやすい社会はその意識改革から始まる。▼健康とは「心」と「身体」が健やかであることと言いますが、今の時代「社会的関わり」も、もう一つの要素であると思う。人は人と関わってしか生きられない。人と関わるのが嫌になり、一人でいたいと思うことがあっても、人は誰かと関わっていないと健康に生きられない。貧困と格差が拡大していく社会の中で、自暴自棄になり暴走する青年たちはみんな孤立している。▼マザーテレサが道端で死んでいく浮浪者を見て、人間が最も辛いことは「孤独」だと、そういう人をホームに引き取り見守った。東北震災の際に、被災者が最も辛いのは、時とともに被災地のことは自分には関係ない他人事として忘れられていく「無関心」だと言っていた。被災者の老人にインタビューした中国人記者の「今、何が欲しいですか？」の問いに「この苦しみに共感してくれる優しいさだな」との答えに、記者が老人を抱きしめた姿がテレビに映った。▼「優しい」とは人を憂えること、人の立場で考えること。人と関わって、環境も社会もみんなで作ることの大切さを、浸水をとおして感じた。絹幼稚園の保護者の皆様、職員みんな、そして多くの人々の「やさしさ」にありがとう。今年はずっと良い年になります。

理事長 浅田 精利

